

特定非営利活動法人 百年の森づくりの会



宝登山 植栽地の下刈り活動

所 在：さいたま市

構成員：540名

当会は、埼玉の母なる川「荒川」流域における植林活動を通じ、森林の持つ多面的機能を学ぶと同時に、森林の恵みを楽しみ、山村の人々との交流を促進して、森林文化の復興と山村の活性化を図り、健全な森づくりの推進に貢献することを目的に森林整備活動、苗づくり、普及啓発活動を行っています。

荒川の水源に緑のダムをつくる百年の森づくり運動

～水を育む山への恩返し～



受賞の取組

- ・平成12年5月に荒川の水源林である「和名倉山」で植林を開始
- ・秩父地域で森林整備活動や植林用苗づくり、公開講座、コンサートなど、年間40回程度の活動の実施
- ・高校OB会や企業など、植林活動の他の団体への波及

取組をはじめたきっかけ

1997年に、現理事長内藤勝久が「水を育む山への恩返し」として水源林の整備を提唱し、荒川源流の水源林である「和名倉山」が1964年の森林火災の後、カラマツが植えられただけで放置されていることから、落葉広葉樹の植林を始めることとし、活動の名を「百年の森づくり」と命名し、「百年の森づくりの会」を設立しました。その後、平成20年に「特定非営利活動法人百年の森づくりの会」に移行しました。

これからの展望

引き続き、「和名倉山」を中心に荒川源流の水源林の森林整備に取り組んでいくとともに、浦高百年の森や宝登山百年の森などの他の団体による百年の森運動を積極的に啓発促進し、私達の生活に欠くことのできない森林環境を保全・整備していきたいと思えます。



作業地へ出発



宝登山 植栽活動

受賞して



今回の受賞は、当会の10年にわたる活動が評価されたものであると思ひ、会員一同感激しております。これまでの活動は、多くの皆様の御支援と御協力により行ってこられたものであり、改めて心より感謝申し上げます。

今回の受賞を励みに、今後も埼玉県森林環境を守っていくため、会員一同努力していくことをお誓いいたします。